

学生参加の双方向 WS STEP 2	
◎教員のプレゼンテーション	
意見	改善案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の声が聞き取れない</li> <li>・パワーポイントのグラフや表等が、字が小さくて見えない</li> <li>・板書の速度が早く書き取れないことがある</li> <li>・ポイントが不明確</li> </ul> 例) 疾患の分類等はただ提示されても何がどう重要なのか不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の録音を聞くなどして自覚する</li> <li>・学生のことを考えて書き直し、同僚等に見てもらう</li> <li>・学生の反応を気にしながらして進める</li> <li>・目的を明確に伝える</li> </ul> (一般教育科目は学生にとって特に目的が理解できないという声大きい；基礎・臨床の専門科目担当教員との情報交換から、一般教育科目の目的を考え、伝える努力を)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジメの内容をそのまま話すだけ</li> <li>・一方的に話しをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の経験談等を紹介する</li> <li>・参加型授業の取り組み</li> <li>・穴埋めレジメにする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドアウトの内容が不明なことがある</li> </ul> 例) アニメーションを利用した際の重なりのあるスライド等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚ずつ配布する配慮をする</li> </ul>
◎講義全般	
意見	改善案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔週の講義は内容を忘れてしまう</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスの内容と隔離している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大幅に変更あった場合、別途配布する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスが充実していれば自習に役立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考図書を載せる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ニーズをもっと把握してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを取る等</li> </ul> ⇨そもそも学生ニーズがあるのか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問を勉強すれば試験をパスできるので講義に出席する意味がない科目がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を理解できないでいる学生の存在があることを認識し、改善する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強している時点で講義の内容が現場でどう繋がるかイメージできず重要性が不明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ学ぶのか、将来どの分野・場面で必要になるのか等、目的を明確に伝える</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試の選択科目以外の科目の知識不足を補講等で対応してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも教員が問題意識を持つことも必要 (学生の理解度を確認しながら進めることも必要)</li> <li>・何をどう学ぶか呈示する</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目間での繋がりを教えてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で学ぶ姿勢も必要</li> <li>・科目間で教員の連携を (これまで科目間教員が情報交換をする機会がない；たとえば教務委員会が中心になり横連携を作ることも必要)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的好奇心をくすぐるような講義を希望</li> <li>・1年生の時から医学に関連した講義や臨床での経験を聞きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持たせるコンテンツの提供</li> <li>・主体的に調べることを促す講義にする</li> <li>・教員の経験談多く話す（教員が経験したエピソードは学生の印象に残りやすい）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生をグループ分けして講義をしているケースで、やる気が入るとやる気がある人の熱意が削がれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気のある人の集団・能力別の集団にして編成する方法もあるかも？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業 2/3 以上出席が受験資格になっているため授業内容の充実が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考：自由出席にすることで、熱意があり面白い授業には出席するという他大学の例がある</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習と試験との間に余裕がなく負担大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義予定の見直しを検討（教務グループの協力が必要）</li> </ul>

### ◎教師間の連携

意見	改善案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同日に複数科目の先生から課題を出され、ほぼ同一時期に提出期限</li> <li>・例として、エクセルを教える科目とエクセルを使う科目があるが、教える時期の順序が逆（使う科目が先で教える科目が後に来ている）</li> <li>・同じこと（たとえばホメオスタシス）が複数の授業で説明される</li> <li>・同一科目で担当教員が複数の場合、教える内容やレベルが大きく異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目コーディネーター、科目担当責任者がコミュニケーションをとって、講義計画・時間割の組み方を作成する</li> <li>・横（科目間）の連携を図る</li> <li>・科目コーディネーターの責任で内容を見直すことを推進</li> </ul>

### ◎掲示板

意見	改善案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧の情報が混在しており見落としの危険がある</li> <li>・講義や休み時間の変更の伝達が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時順に掲示する</li> <li>・例えば、貼り出して1週間は「NEW」マークを付けるなどの工夫を</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧情報を左右に分けることも一案</li> <li>・メールで掲示板の内容を一斉配信することも考慮（学務課に依頼済み）</li> </ul>
◎その他	
意見	改善案
・教員のインセンティブをどう確保するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベストティーチャー賞の導入（H23 開始）</li> <li>・教育業績評価の推進</li> </ul>